

中学校第2学年 技術・家庭科(技術分野) 学習指導案

学習指導者 東かがわ市立引田中学校 富山 瑛二

1 単元名「生物育成の技術による問題解決 -引中 Style をつくろう-

2 学習指導計画(総時数 12 時間【本時 9 / 12】)

- 基礎知識の学習 …………… (5時間)
- 課題設定、計画、実習、振り返り …… (3時間)
- 問題発見と解決策の検討 …………… (1時間) (本時)
- 実習、振り返り …………… (3時間)

3 授業の見どころ

生徒が実習を行う際、一度きりの実践で終わらせるのではなく、技術部会で取り組んでいるUnitの考え方をういてより学びを深めた2度目の実践を行う。生徒が主体となり、自分の育成結果と友達の育成結果を比べながら、これまでに学習した知識と実際の経験をもとに学びを深めていく。その過程で「育成計画」と「環境を調整する技術」の重要性を再認識し、今後の生活に生かせるように生きた知識として身に付けさせる。その2度目の実践への繋ぎとなる内容になる。

4 学習指導計画

(1) 目標 学級全体で1回目の栽培を振り返り、改善点を検討することで、2回目の実践に向けた課題の発見、解決策を協働で見つけていく。

(2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	指導・支援及び留意事項
1 栽培記録等を振り返り、本時の学習課題を確認する。	・発表のために自分の気を付けたポイントなどを整理できるように声をかけて回るなど支援する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 私たちはどう育てるか </div>	
2 見つけた特化ポイントを交流する。 (1) 発表の要領を確認する。	・交流前に、栽培のポイントを端的にまとめられるように大切な部分を教員が再確認する。 ・「既存の栽培手順と解決策の比較を必ず伝える。」「実際の経験を伝える。」「誰もが実践できるように、技術の見方・考え方で曖昧にならず伝わるようにする。」という視点を持たせ、論理的に根拠を示すように指導する。
(2) 自分たちの考えた特化ポイントを共有する。 ・気になったことや質問事項は随時タブレットに打ち込む。 ・学級で協力して計画を修正していく視点で考える。	・見つけたポイントが自分と同じ部分、違う部分を意識するよう適宜声掛けを行う。「何を」「どのように」「何のために」等 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 思考・判断・表現 自分の問題点(課題)の発見と解決策の検討ができています </div>
(3) 育成計画を作成する。 ・さらに自分の課題を見出した時には再度調べてまとめる。	・時期による違いがあることについても考えて計画できるように再認識させる。
3 本時の振り返りをする。	・外部の知識をそのまま使用するのではなく、自分の生活環境に合わせて最適化していくことが重要であることをおさえる。